

令和 7（2025）年度入学者選抜における変更について（予告：第 2 報）

令和 7 年度入学者選抜（令和 6 年度実施）における変更点について、以下のとおりお知らせします。
なお、本内容は、今後変更される場合もありますので、本学 Web サイトや令和 6 年度（2024 年度）に公表する令和 7 年度入学者選抜要項および学生募集要項で必ずご確認ください。

（1）一般選抜（前期日程・後期日程）

＜募集人員＞

前期日程および後期日程の募集人員を以下のとおり変更します。

区分	変更前	変更後
前期日程	135人	138人
後期日程	25人	15人

＜選抜方法：教科・科目および配点＞

大学入学共通テスト [5教科6科目] (前期・後期共通)				個別学力検査		
前期日程 ・ 後期日程	教科	科目		前期日程	教科	科目
	国語	『国語』 (「近代以降の文章」のみ)			数学	必須問題
数学	必須	①『数学Ⅰ，数学A』 ※『数学Ⅰ』は不可	選択問題	数学Ⅰ，数学Ⅱ， 数学A，数学B，数学C		
		②『数学Ⅱ，数学B， 数学C』		数学Ⅲ，数学C		
外国語	英語		外国語	英語		
理科	少なくとも1科目を 選択	『物理基礎 / 化学基礎 / 生物基礎 / 地学基礎』 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』		後期日程	個別学力検査は課さない	
情報	必須	『情報Ⅰ』				
外国語	『英語』 【リーディング】 【リスニング】					

	大学入学共通テスト							個別学力検査			合計
	国語	数学①	数学②	理科	情報	外国語(英語)	小計	数学	外国語(英語)	小計	
前期日程	100	100	100	100 ※詳細は下記参照		100	500	300	200	500	1000
後期日程	100	100	100	100 ※詳細は下記参照		100	500	—	—	—	500

【主な変更点】

○ 大学入学共通テスト

- 「情報」は受験を必須とします。
- 「理科」および「情報」は、各科目の得点を50点満点に換算し、2科目の得点を合計した計100点満点として利用します。なお、理科を2科目受験した場合は、「情報」、「理科(第1解答科目)」、「理科(第2解答科目)」のうち、高得点の上位2科目の得点を用いるものとします。

理科の選択	得点への反映
理科1科目のみ受験	情報+理科の合計得点
理科2科目を受験	情報、理科(第1解答科目)、理科(第2解答科目)のうち高得点の上位2科目の合計得点

- 「外国語(英語)」のリーディングとリスニングの比率を、80:20から50:50に変更します。(合計100点満点)
- 上記2, 3を除く教科については、大学入学共通テストの素点と異なる場合は、100点満点に換算して利用します。
- 旧教育課程履修者については、新教育課程による出題科目・科目選択の方法に加え、旧教育課程による以下の科目を選択することができます。

教科	科目
数 学	① : 『旧数学Ⅰ・旧数学A』
	② : 『旧数学Ⅱ・旧数学B』・『情報関係基礎』
情 報	『旧情報』

○ 個別学力検査

- 必須問題および選択問題の「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」について、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」を出題範囲とします。
- 旧教育課程を履修した高等学校卒業生等に対しては、出題の内容によって配慮を行うものとします。

大学入学共通テストの「情報」の取扱い、および「理科」の取扱いは、3年間の措置とし、令和10年度入試にあたっては、見直しを行うこととします。
また、個別学力検査の数学の出題範囲についても同様とします。

(2) 総合型選抜

<選抜方法>

選考方法はこれまでと同様、「適性検査」と「面接」によることとします。

「適性検査」の出題ポリシーを一部見直すこととします。

【主な変更点】

○ 適性検査

1. 総合問題A「基礎的な数学能力を問う問題」について、出題ポリシーの文言を以下のとおり変更します。

主として「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」の範囲から基礎的な知識の理解を問います。出題形式は、基本的な小問を5問程度出題します。

- ・数学Bの出題範囲は「数列」とします。
- ・数学Cの出題範囲は「ベクトル」とします。

2. 総合問題A「データに関する基礎的な問題」について、出題ポリシーの文言を以下のとおり変更します。

図や表などを元にした設問により、読解、説明、推論する力などを問います。

- ・出題範囲は「数学Ⅰ」および「情報Ⅰ」とします。

上記の「基礎的な数学能力を問う問題」および「データに関する基礎的な問題」の出題範囲に関する取扱いは3年間の措置とし、令和10年度入試にあたっては、見直しを行うこととします。

(3) 学校推薦型選抜

<募集人員および出願資格>

区分	はこだて枠	地域枠（北海道・青森県）	全国枠
募集人員	12人	40人	15人
出願資格	函館市・北斗市・七飯町に所在する高等学校等を令和5年度中に卒業した者および令和6年度中に卒業または卒業見込みの者で、以下の(1)～(3)のいずれにも該当する者	はこだて枠の対象者を除く、「北海道」または「青森県」内の高等学校もしくは中等教育学校等を令和5年度中に卒業した者および令和6年度中に卒業または卒業見込みの者で、以下の(1)～(3)のいずれにも該当する者	高等学校もしくは中等教育学校等を令和5年度中に卒業した者および令和6年度中に卒業または卒業見込みの者で、以下の(1)～(3)のいずれにも該当する者
	(1) 成績が優秀な者（調査書において、次の①②のいずれかを満たす者が望ましい。） ① 全体の評定平均値が3.7以上 ② 数学、理科、情報のうちいずれか1教科の評定平均値が3.7以上 (2) 本学で修学するための能力、適性について在学高等学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者		

【主な変更点】

○ 入試区分

従来の「指定校」枠を廃止し、それに代わる入試区分として、本学の設立団体（函館圏公立大学広域連合）の構成自治体である函館市・北斗市・七飯町に所在する高等学校等を対象とした「はこだて枠」を新たに設けます。

○ 募集人員

各区分の募集人員を以下のとおり変更します。

区 分	変更前	変更後
はこだて枠	10人（※）	12人
地 域 枠	40人	40人
全 国 枠	10人	15人

※ 変更前の数字は指定校の募集人員。

○ 出願資格

1. 従来はすべての区分で、出願の対象を現役生（高等学校等の卒業見込者）に限定していましたが、現役生のほか「高等学校等を前年度中に卒業した者」も含めることとします。
2. 「成績が優秀な者」の対象教科に「情報」を追加します。また、本学が望ましいとする評定平均値を3.5から3.7に変更します。

<選抜方法>

選考方法はこれまでと同様、「適性検査」と「面接」によることとします。なお、「はこだて枠」においても他の区分と同様、適性検査を課すこととします。

「適性検査」の出題ポリシーを一部見直すこととします。

【主な変更点】

○ 適性検査

1. 総合問題Ⅰ「基礎的な数学能力を問う問題」について、出題ポリシーの文言を以下のとおり変更します。

主として「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C」の範囲から基礎的な知識の理解を問います。出題形式は、いくつかの小問で構成された問題を2問程度出題します。

- ・数学Bの出題範囲は「数列」とします。
- ・数学Cの出題範囲は「ベクトル」とします。

2. 総合問題Ⅰ「データに関する基礎的な問題」について、出題ポリシーの文言を以下のとおり変更します。

図や表などを元にした設問により、読解、説明、推論する力などを問います。

- ・出題範囲は「数学Ⅰ」および「情報Ⅰ」とします。

上記の「基礎的な数学能力を問う問題」および「データに関する基礎的な問題」の出題範囲に関する取扱いは3年間の措置とし、令和10年度入試にあたっては、見直しを行うこととします。

※出題ポリシーの文言は、別紙の新旧対照表にてご確認願います。

